

ステロイド薬(プレドニゾロン)内服中の注意点と副作用

注意点

① 指示された内服の継続を守る

ステロイドホルモンは体の中からも分泌されていますが、それ以上の量のプレドニゾロンを長期に内服した場合、ステロイドホルモンが分泌されなくなります。そのため、急に薬を飲まなくなると、体の中のステロイドホルモンが不足し、体のだるさ・吐き気・頭痛などの症状が見られることがありますので、自己判断で急に内服を中止しないで下さい。

② 感染症に注意する

プレドニゾロンは免疫を調整して病気の悪化に対して効果が期待できるお薬です。しかし免疫をある程度抑制しているので感染症には注意しなければいけません。手洗い・うがい・歯磨き・人の多いところではマスクの着用を心がけましょう。

③ ストレス時には要注意

手術、抜歯等ストレスがかかるときには容量の調整が必要な場合がありますので医師に事前に相談して下さい。また、ストレスが病気を悪くすることもあります、気分転換出来ることを見つけて下さい。

副作用

どんな薬にも副作用はあります。病気を治療するこの薬も例外ではありません。以下の副作用は、皆さんにでるものではありませんし、日頃気を付けていればすぐに気付いたり、症状予防が可能です。

○感染症

予防薬（ダイフェン等）があります。上で書いているように手洗い等もしましょう。

○胃・十二指腸潰瘍

吐き気等が強い時はお伝えください。便の状態を確認しましょう。

○骨粗鬆症

予防薬（アクトネル・エディロール等）があります。転ばないようにしましょう。

○糖尿病・高血圧

必要時に血糖測定や採血、血圧測定を行います。食欲が増すことがあります。食べ過ぎや偏食はやめましょう。

○精神障害・不眠

眠れなくなることがあります。痛みによることもあると思いますので、頓服の薬を指示された量を守って使ってください。上で書いてあるようにストレスをため過ぎることは良くないです。神経質になりすぎないようにしましょう。

○大腿骨骨頭壊死

定期的に外来で検査を行います。内服は指示通り守り、転ばないようにしましょう。

非常時に備えて

①自分の病気が書いてある物②内服中の薬が書いてある物③内服薬の予備をいつも持ち歩くようにして下さい。